

●3・9集会協力に感謝!!



放射線の恐怖を伝える神田さん。富山市奥田新町で

原発事故 恐怖語る

北中日 3/10

東日本大震災の被災地の現状や放射能問題を語り続けている福島県いわき市出身の講演師、神田香織さんの講演会が9日、富山市奥田新町のポルファートとやまで開かれ、放射線被害の恐怖を講演を交えて語った。(広田和也)

富山で福島出身の講演師

神田さんは、故中沢啓治さんあり語りで音響や照明もさんの漫画「はだしのゲ」用いながら表現、最後に「一九八六（昭和六十一年）に旧ソ連で起きたチェルノブイリ原発事故など、これまでも福島を忘れずも取り上げて全国を回ってに寄り添ってあげて」と訴えている。この日は、チェルノブイリ原発事故で被ばくした夫婦の実体験を描いた講演「チェルノブイリの祈り」の一部を披露した。

講演会は、原発ゼロを目指す一福島を忘れない！3談「チェルノブイリの祈り」の一部分を披露した。大量の放射線を浴びて次第に体が弱っていく夫と看病する妻の様子を、メリハ

福島出身・神田さん 原発反対を訴える

富山で集会

北日本 3/10

東日本大震災と東京電力福島第一原発事故の発生から11日で3年を迎えるに当たり、原発再稼働に反対する集会が9日、富山市のポルファートとやまで開かれた。福島出身の講演師、神田香織さんが講演し「福島のことを忘れず、寄り添ってほしい」と訴えた。

参加した約500人を前に、神田さんはチェルノブイ

り原発事故を題材にした講演を披露。放射線被ばくの恐怖しさを伝え「原発から離れ、自然由来のエネルギーへ転換すべきだ」と強調した。集会は県平和運動センターなどでつくる実行委が開いた。終了後、参加者の一部は北陸電力本店前に移動し、志賀原発再稼働反対を訴えシュプレヒコールを上げた。

500人参加
カンパ (33万5,000円) でした!!
協力に感謝

許すな! 再稼働

